

<b>会議名</b>	令和6年度第6回上下水道事業経営審議会
<b>日時</b>	令和7年2月13日(木) 10:00~11:40
<b>場所</b>	岐阜市役所 6階 6-3会議室
<b>出席委員</b>	服部勝弘委員、浅野裕司委員、箕輪光頭委員、佐藤幸太委員、 後藤尚久委員(会長)、武藤豪委員、田島義則委員、服部学委員、 清水達郎委員、廣瀬美紀委員
<b>欠席委員</b>	河合智美委員、森健二委員
<b>次第</b>	1 開会 2 会議 ○審議事項 ・岐阜市上下水道事業経営戦略の改定案について ・岐阜市水道事業基本計画の改定案について ○報告事項 ・岐阜市上下水道耐震化計画について ・下水道管の緊急点検について 3 その他 4 閉会
<b>議事概要</b>	<p><b>《審議事項に対する質疑》</b></p> <p>・「岐阜市上下水道事業経営戦略改定案」、「岐阜市水道事業基本計画改定案」について</p> <p>・委員から、下水道の有収率向上に寄与するのは何かとの質問があり、有収率を阻む主な理由としては、下水道管への雨水の侵入が挙げられ、その対策として、侵入水を防ぐために老朽管の更新や、マンホールからの止水対策を実施することで有収率向上を図っていると回答。</p> <p>・委員から、経費削減のひとつとして、遠隔での計測を可能とするスマートメーターの導入などの検討について質問があり、現在の検針とスマートメーターを導入した場合とを経費比較した場合、現時点では従前の(人力での検針の方)方法が安価であると説明。 加えて、今後、経費削減のため、利用者がスマホから使用量が確認できるなどのアプリの開発等も含め検討し、DXを推進していくと回答。</p> <p>・委員から、上下水道事業部の職員が10年前と比較して減少している理由について質問があり、料金収納などの一部業務を民間委託したこと、下水道事業においては、中部プラントの改築により業務の効率化が図られたことから削減したと回答。</p> <p>・委員から、退職による技術職の減少や災害発生時における対応は、現体制で十分な対応が可能であるかとの質問があり、技術職の配置減少は無いが、退職による経験豊富な人材の減少は懸念されており、人材育成や民間のノウハウを活用した業務効率化や、官民合同での研修などを行い、技術継承を図るなど官民連携を推進していくと回答。</p>

・委員から、上下水道管路の耐震化が効率的に行われているのかと質問があり、耐震性の優れた管への布設替えの他に、既設の下水道管に樹脂性の更生材を入れ内面を被覆し耐震性を高める工法もあるが、経費比較で差異は大きく無いため、現場の状況等から最適な方法による耐震化を進めていると回答。

・委員から、普及率向上のための具体的な取組について質問があり、営業課普及係による個別訪問やチラシの投函を実施している。その他に、当部発行の広報紙において上下水道への切替えの周知を図っていると回答。

#### 《報告事項に対する質疑》

##### ・岐阜市上下水道耐震化計画について

・委員から、上下水道管路の両方が耐震化されている重要施設の割合が 0%であることについて質問があり、災害対策拠点など 19 の重要施設に接続する上下水道管路の全てが耐震化されていないため低い数値となっていると回答。

・委員から、重要施設の耐震化計画による財政計画の見直しの必要性について質問があり、今年度、本審議会において審議いただいた建設改良費内で実施していくと回答。ただし、次回の料金算定期間が終了する令和 10 年度には、改めて財政計画についてご審議いただくと回答。

・重要施設の追加について質問があり、今回は、先ず災害対策拠点や災害拠点病院として重要度が高い 19 施設を選定したことを説明。今後、重要施設の見直しは行っていくこと及びその他の避難施設についても、優先度を上げて耐震化を進めていると回答。

#### 《その他の質疑・意見等》

・なし